

グリーン経営認証取得の成果の紹介

認証取得後 1 年目の定期審査時のアンケート項目「特に成果のあった取組」について
寄せられた皆様の声をご紹介します。(2023.11~2023.12)

【バス事業】

内容
運転指導にエコドライブの運動などを取り入れ、運動期間中では危険個所や速度が出やすい箇所での速度を抑えた運転をおこなうよう呼びかけ、燃費向上を目的としたことで、事故防止の取り組みにも活かすことができています。
乗務員の燃費、アイドリングストップ運動への意識が高まりました。 また、一か月点検を実施することにより、担当者は車両の細かい変化に気づくことができ、早期に点検、修理が可能となりました。

【タクシー事業】

内容
保有タクシー車両を全てJPN TAXIに代替えをしたことにより燃費が向上した。
毎月前年の燃費実績と、それに対する本年度の目標を定めることによって、運転者への燃費向上への意識付けを行うことができた。
ハイブリッド車の導入による燃費向上、燃料費の削減。LED照明機器の導入による光熱費の削減。
継続した燃費向上の取り組みを行い、運転者へ対し、エコドライブ等の燃費向上への意識づけを行うことができました。今後もマンネリ化しないように工夫をした取り組みを行って参ります。
月1回・各車両に実施される定期点検による車両の安全確認。
①燃費に関して、ハイブリット自動車（11.40 / 12.86）LPG自動車（5.90 / 6.64）ともに目標をクリアした。
⑩全施設蛍光灯PCB対策の為、回収交換完了した。（PCB物質、専門業者回収済）
エコドライブやアイドリング・ストップの実施による燃費の効率化。
運転者に対して急発進、急停止などの【急】が付く運転動作を行わないように指導した。停止時にはパーキングレンジにいれる。
乗務前点呼や掲示物によってアイドリングストップの励行を呼びかけ、燃費の向上を図りました。その結果、2022年度のJPNタクシー燃費実績は「11.75」であり、前年度の数値「11.58」と比較すると燃費の向上が見られました。今年度も引き続きアイドリングストップの励行を呼びかけ、燃費の向上に努めて参ります。
運航管理者がまずはエコドライブ、アイドリングストップ、環境への影響を学び、強く意識することで、乗務員に指導する際に正しい知識を伝えることが出来ました。その結果、前年と比べた燃費向上に繋がった他、安全意識にもいい影響がみられました。
月ごとの燃費目標を掲示し、集合教育等で乗務員への周知を徹底することで、エコドライブに対する意識向上に繋がっている。また、エコドライブ＝安全運転であることから、事故・違反防止にも一定の効果をもたらしていると考えられます。
出庫点検の際にトランクに不要なものは積載しないよう注意喚起を行ってきたことが全所員に定着してきており、業務においては迎車時のスムーズなトランクサービスへと繋がっております。又、アイドリングストップやハイブリッド車の積極的活用により燃費は前年から0.2%ほど改善しております。 燃費把握や定期点検等日常的に行っていることが実際の運転と、相まって安全確保に繋がることをグリーン経営認証の取り組みの中で実感できるようになりました。 季刊誌でご紹介いただく各事業者様の取り組み事例を参考としながら引き続き所員全員へエコドライブへの啓発を行い安全確保に努めたいと思います。

年1回の審査時期になると、燃費目標、結果の資料を掲示するので、社員の意識が変わります。
審査時期だけでなく、年にもう2、3回途中結果の資料を作成、掲示して燃費改善の向上につながる様に努めます。

今後もジャパントクシーの導入に努め、燃費の向上を図り、環境の保全に努めます。

JPタクシーの購入もあり、燃費が格段に良くなった。

グリーン経営認証を実施する上で、弊社として特別な独自取り組みを行っている訳ではないが、活動を通して普段の車両管理（オイル交換タイミングの確認や、日常の車両の整備、等）を、「認証を得るために必要だから」と、目的を明確にして持続的に実施させることで、以前は気薄であった車両点検の重要性についての認識が年々高くなってきており、また、トラックやその他の道具の扱いについても丁寧になって長持ちする等の効果が出てきている。

【港湾運送事業】

内容
ポスターなど利用して啓蒙活動を活発に行う事が出来た。
貨物の適正配置、作業効率の意識がより高まったことにより、燃料使用量の原単位に改善が見られた。適正配置をすることで作業工程が少なくなり荷役事故減少にもつながった。新規お取引の際、グリーン経営を取得しているとのことで評価を頂くことがあった。

【トラック運送事業】

内容
2023年10月に営業所倉庫の照明を水銀灯からLEDに交換し、消費電力の削減になりました。安全面の向上や職場の活性化にもつながっております。
近年、お取引先様より認証取得の調査（問い合わせ）が増えました。「グリーン経営認証」を取得してよかったと思います。
燃費報奨については、上期・下期に分けて個人評価を実施している。最近では、若手の躍動が好調で全体的に良い刺激となり士気向上につながっている。
燃費向上した上、その維持が出来ている
エレメント類の基準内交換に加え、エンジンオイル・燃料への添加剤を積極的に使用し、車両故障の減少と燃費向上に繋がった。
車両毎の燃費公表をすることで、切磋琢磨の職場環境が構築された。
デジタルタコグラフの導入以来、燃費の向上については、良い結果を伴っており満足している。さらにこの取り組みを進める上で重要なこととらえて従業員の考え方、ものの見方を少しでも変えて行きたいと思い認証制度を利用し始めて1年以上が経過し、車輛事故などの減少、交通事故の減少とその効果が着実に見え始めているものと考えているが、さらにこの状況を維持し、職場の活性化、従業員の士気向上にもその効果が及んで行くことを今後の課題として活かして行きたい。また荷主に対してももっとアピールをしていきたいと考えています。
車両の整備に関する事で、細かくデータを可視化することで整備管理者の認識もより深くなったように思われます。基本的に車両の不具合やオイル交換、3ヶ月点検などは外部にすべて委託しており、整備管理者などの認識がより深くなったことで、委託業者とのコミュニケーションも故障を未然に防ぐなどよい方向に向かっていると感じます。5年前にスタートした「事故0運動」でいまだ達成できてない「0件」を、認証取得により相乗効果で「0件」を達成できるように、「1件」の壁を乗り越えたいと考えます。
(1) エコ運転励行によるドライバーへの意識向上 (2) 従業員に対する排出ゴミ削減、分別の意識向上
1：整備管理者の意識の向上 在庫物の管理をムダ無く行えている。必要のない部材の発注が無くなった。 2：事務所内の5S3定が行き届き、ゴミの発生も少なくなった。
エコドライブと燃費については意識の向上がうかがえる。

<p>オイル・オイルエレメントの交換を規定内で行うことにより、車輛故障防止に繋がっていると実感している。</p>												
<p>表を使い各車両の燃費を可視化することによりドライバーの意識改善につながった。 また、年式の古い車両の燃費が悪くなってきたのがわかりやすく代替え計画にも役立っている。</p>												
<p>ドライバー間での燃費に対して競争心が生まれ全体的に燃費が向上した事。</p>												
<p>社会的な物価上昇の影響もあり、従業員一人一人が経費削減を意識する様になってきた。その結果、エコドライブについても少しずつ意識している。</p>												
<p>配送員の燃費向上や環境に与える影響エコについての意識が向上した。</p>												
<p>日頃からエコドライブを心がけることにより①交通事故防止②燃費向上による経費削減③排気ガス等を規制することで環境に優しい運転が出来ている。</p>												
<p>効果が得られたものとして、燃費の向上を上げているすが、ほぼほぼ横ばい傾向となっている。燃費を落とさないよう、継続して省エネ運転の励行を推奨し、実践しているところである。また新人乗務員に対する、省エネ運転指導は欠かせず、指導をすることで、確実に燃費の向上、無事故等の結果を残している。</p>												
<p>エコドライブ教育により、当社ドライバーの経済運転への意識が高まり、燃費の改善がみられました。</p>												
<p>会社・営業所として認証を受けることで各ドライバーの誇りにつながり、その誇りと責任が事故減少に効果があると考えている。幸い業務に支障が出た車両故障は発生していない。</p>												
<p>高速道路運行制限速度を75kmに設定。燃費削減と事故防止に繋がった。</p>												
<p>これまでのグリーン経営取り組みで、車両点検をドライバーがしっかりとおこなう様になっている。故障が減少するというより、早めに不具合を見つけ、点検や修理する事が出来ている。</p>												
<p>毎月燃費結果を集計し、一覧表を掲示することでドライバー自身が燃費向上を意識するようになりました。 毎日の運行前点検と併せて距離や期間による定期メンテナンスをドライバー自身が行うことにより、自分の担当車両の僅かな変化に気付くことができるようになったと思います。</p> <table border="1"> <tr> <td>認証取得前1年間</td> <td>2021年10月～2022年9月</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>認証取得後</td> <td>2022年10月～2023年9月</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>エコドライブを実践することによって速度抑制から車間距離の確保に繋がり、余裕のある運転ができひいては交通事故発生件数の減少に寄与していると思います。</p> <table border="1"> <tr> <td>認証取得前1年間</td> <td>2021年10月～2022年9月</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>認証取得後</td> <td>2022年10月～2023年9月</td> <td>0件</td> </tr> </table>	認証取得前1年間	2021年10月～2022年9月	4件	認証取得後	2022年10月～2023年9月	1件	認証取得前1年間	2021年10月～2022年9月	2件	認証取得後	2022年10月～2023年9月	0件
認証取得前1年間	2021年10月～2022年9月	4件										
認証取得後	2022年10月～2023年9月	1件										
認証取得前1年間	2021年10月～2022年9月	2件										
認証取得後	2022年10月～2023年9月	0件										
<p>2024年問題への取り組みもあり、経費の増大も見込まれることから本年度から燃料の消費を節約する意識を今まで以上に高めることを乗務員への教育優先事項として取り組んでおります。今回の定期審査書類の実績内容は昨年度分の実績となりますが、このグリーン経営への取り組みが基礎となり、本年度の実績は今まで以上に手ごたえを感じられるものへと変化してきております。燃費向上への取り組みが、速度の抑制やアイドリング時間の抑制へとつながり、2024年問題への取り組みとも関連性を持つものとなっております。高速道路利用費が増大する中、各乗務員の意識の向上が燃料費や事故費、車両修理費、タイヤ費、保険費などの節約につながっており、各乗務員の健康面での効果も出ております。</p>												
<p>・養生作業標準を乗務員に再確認して貰い、ストレッチフィルムをバンドやビニール紐等の他の固定方法に可能な限り変更を行なう事で、梱包資材削減に多少の成果があった。</p>												
<p>当社ではグリーン経営推進にあたり、下記10項目を評価した合計点の上位者を表彰する制度（プロドライバー制度）があります。 常に全方向に注意し運転する習慣が根付きつつあります。社員の努力は経営面ではコスト低減に繋がり、我が国の地球温暖化防止への貢献にも繋がっていくものと理解しています。</p> <p>1.燃費（車両ごと） 2.改善提案3.ヒヤリハット報告 4.事故件数（製品転倒、納入異常など） 5.アルコール検知 6.ナイスプレー 7.速度順守率 8.安全運転、経済運転総合（デジタルタコグラフ利用） 9.トラック4S 10.年間無事故、無違反（運転記録証明利用）</p>												
<p>燃費向上の維持です。アイドリングストップ等エコ活動が社内に浸透した感が実感としてあります。</p>												
<p>紙ゴミの分別方法を掲示したら回収量が増加した。</p>												

<p>車両事故件数の減少を目的として、車間距離を取る・スピードを抑えた運転に取り組んだ結果燃費向上にも繋がりました。</p>
<p>エコドライブ推奨のためのエコ手当金支給をして、エコドライブの意識向上につながった。</p>
<p>乗務員の安全意識の向上により小さな事故も減少している。燃料が高騰している時に使用燃料・燃費を管理する事により経費の削減に繋がっている。</p>
<p>整備不良による突発的な故障が減少した。</p>
<p>燃費向上の為、グラフを作成、各乗務員への呼びかけを行いました。車輛整備の徹底。掲示物による環境問題について意識付けを行いました。</p>
<p>月1回の自主点検等により、車両のトラブルがほぼありません。</p>
<p>【 廃梱包材量の減少について 】</p> <p>・依頼された貨物の輸送において、納品先であるお客様へお届けした際に、お客様で不要となる資材（ラップフィルム・段ボール緩衝材・リン木・パレット等）を持ち帰ることがあったが、依頼された作業内容ではないこと、持ち帰った後に発生する廃材処理費用が発生することを根強く説明を繰り返した結果今では持ち帰ることがなくなった。</p>
<p>運転手、一人一人に「車輛自主管理表」を毎回記録する事で、燃費向上に勤める努力がみられる。車輛点検、整備のはやめの報告が、修理、整備の連絡をスムーズにつなげられている。</p>
<p>従業員のエコドライブ意識が高まり、燃費が向上した。</p>
<p>運行管理者が日報で速度超過していたことを確認した場合、乗務員にどんな理由があっても速度超過しないよう厳重注意した。その結果、乗務員は、高速道路や一般道路での制限速度を意識するようになった。燃費目標に対し、毎月車両別に燃費管理を行ない、目標に達しない場合、原因を乗務員と一緒に考え、対策を練った。その結果、乗務員は、アイドリングストップを心掛け、急発進・急加速・急ブレーキを控える運転を意識するようになった。</p> <p>日常点検では、タイヤチェック(タイヤ溝・空気圧等)を重点的に点検するようになった。グリーン経営認証取得後11年が経過しましたが、環境保全を踏まえた車両管理等の取組みについて、大きな問題や障害なく進めることが出来ました。</p>
<p>特に点検・整備の重要性を各人常に意識し、定期点検のみならず、点検を実施する事が車両故障減少にも繋がった事と思われます。</p>
<p>コロナ禍により多くの活動が制限されたが、乗務員全員が出席する月次の安全会議でエコ運転の勉強会を継続的に実施し、また入社後間がない新人に対しては乗務員研修期間滋賀県クレフィール湖東交通安全研修所に計画的に派遣しエコ運転に対する動機づけを行った。</p>
<p>上記の回答にもあります通り、燃費の向上や車両故障件数及び交通事故件数の減少など目に見える数値の部分については現状維持に近い状態となっております。</p> <p>その反面、従業員の士気向上や人材育成などの意識改革といった側面においては大きな効果を実感しております。当事業所もいよいよ「ゴールドステッカー」の取得が視野に入って参りましたので、「日常にしっかりと意識を持って取り組むことの重要性」を繰り返し伝えることで、勉強会の際にも従業員がお互いにより強い意志を持って日々の業務に取り組むような姿勢が大変多く目につくようになってきたと実感しております。</p>
<p>従業員の意識向上（エコ運転）してきております。</p>
<p>ドライバー自身が燃費向上エコドライブを意識し、QCサークル活動に取り組んだ事。</p>
<p>・燃費向上取組（燃費向上と同時に安全運転意識向上も図られた）・車両メンテナンスの標準化（突発事故の減少）</p>
<p>アイドリングストップに取り組む事で、燃費向上となりました。</p>
<p>コピー用紙の裏をメモにしたり、電気をこまめに消したりドライバーさんも協力してくれるようになりました。</p>
<p>引き続き毎月KYTトレーニングを行い、予知運転、余裕のある運転技術の向上に努めている</p>
<p>・エコドライブへの取り組みを継続することにより、社内の燃費に対する意識が高まった。</p> <p>・管理部門（事務所）における環境保全の推進を周知することで、紙の使用削減や不必要な証明の消灯などを、従業員自ら、常に意識して行うようになった。</p>

<p>ネンピの良い運転を心掛ける為、早目のシフトアップ、グリーン回転数を使用した運転を実践しており、安全運行出来ております。</p>
<p>グリーン経営認証に取り組むことにより、燃費の向上と客先からの評価向上につながっている。特に燃費の向上については、経費を削減していくうえで重要項目であるため、更なる取り組みが必要。</p>
<p>乗務員どうしで省燃費運転の意見交換を行ったり、車両の装備や運行計画の見直しの提案をする姿を見る機会が増えており、従業員の士気向上に成果がでていることを実感しております。</p>

【倉庫業】

内容
<p>グリーン経営の取り組みの一環で、倉庫照明がほぼLED化され、作業環境が良くなった。</p>
<p>・空調の適正温度に設定 ・エコマーク製品の優先的購入 ・不必要な照明消灯の定着</p>
<p>電力使用量を削減するため、稼働中も不稼働品を置いてある場所に関しては、消灯を実施 また、休憩時間の積極的な消灯などで電力使用量を削減することができました。</p>
<p>電気使用量の把握、燃料使用量の把握を定期的実施する事により、現場含めた全体での削減活動となっている。</p>
<p>C02削減の余地が大きい港湾地域において、カーボンニュートラルポートの形成を目指す中で、港湾関係業界においても環境対策の推進と、その達成に資する取組への機運が高まっている。</p> <p>環境保全のためのグリーン経営は社内一体となって取り組む必要があり、環境方針と取り組みを社員に浸透させるには時間と労力を要しました。</p> <p>環境保全に関する従業員教育を計画的に進めるなど新しい取り組みを、若手社員による教育訓練発表により、グリーン経営について学習及び知識をつけることができました。</p> <p>ここ数年では、エアコンの温度設定の管理、LED蛍光灯より、使用量/電気代が減少している。無駄なエネルギーを使わない省エネの業務活動を心掛けている。</p>
<p>電気料金が高騰しているので、こまめに消灯したりするなど節電に取り組んだ。その結果昨年よりも電気使用量が減少した。</p>
<p>○廃棄物の発生を少なくしようと、意識的に行動している。</p> <p>○倉庫内の電灯のこまめな消灯を行い、節電に取り組んでいる。</p>
<p>経費削減の関係で廃棄物の分類をこまめにやることによって経費を抑えることが出来ました。段ボール 紙 ラップ プラパレ 有価物及び無償で引き取りしてもらっています。</p>
<p>ゴミの分別徹底。プリンター用トナーカートリッジ等リサイクル品利用促進。倉庫内照明の消灯。倉庫内整理整頓清掃活動推進。</p>
<p>アイドリングストップ、急発進の防止を職員同士が注意しあう事。</p>
<p>廃棄物削減についての支店内での共通認識、意識向上が見られたと思われる。</p>
<p>電気使用量削減の為に、こまめに電気を消すようにポスターを掲示したところ、節電を意識して消灯してくれるようになりました。</p>